

Respect ~ 関わりのあるすべてを大切に ~

いよいよ高校入試本番まで残り182日。 ここから「自分に何ができるか」挑戦の6カ月！！

夏休み、あっという間に過ぎていきましたね。

44日間、「あれ？いつの間にか終わってしまった」という人はいませんでしたか。私は、1学期に借りていた本の残り200ページをこの夏休みで読み終えるぞ〜、と心に決めていましたが、50ページほどしか読むことが出来ませんでした。

「あ〜、自分はなんで決めたことをちゃんとできないんだろう(๑)」と今まで何回思ってきたかわかりません。ただ、これまでに1回も決めたことが実行できなかったわけではないんです。知らず知らずのうちに、できていたこともありました。そこにはどんな違いがあるのか、自分なりに考えてみました。

①「自分が好きなこと、楽しいことはワクワクしながらいつの間にかできていた」

私は小さいころからサッカーをしていました。サッカーの時には、目覚まし時計なしでも自分で朝起きて、準備して練習・試合に行くことができていました。「好き」という感情は、もしかすると行動を起こすためには最強の気持ちなのかもしれません。だから、本気で好きなことをもっている人は強い。

②「誰かのために」と想いをもてた時には、踏ん張りながらできていた

これは、仕事を始めるようになって特に感じることでした。私が教員採用試験になかなか合格できずにいた時、同じ職場の先輩からアドバイスをもらいました。「子どもに“勉強しろ”というのだから、自分も仕事しながら大変と言い訳するのではなく、必死にやってみろ」と毎日、自主勉ノートの提出を約束しました。はじめはやらされている感じが強くて、自主勉ノートをとりあえず提出するだけでした。ひどいときにはできていないこともあり、生徒と一緒に居残り勉強したこともたくさんありました。そんな中、自分が担当する部活動の県総体の試合と、採用試験の日程が重なって、生徒と一緒に試合に臨むことが出来ませんでした。試合は0-5の完敗でした。試合後、キャプテンから「先生ごめんなさい。勝てなかった。すみませんでした。」という言葉聞いて、一番手を抜いていたのは自分だった、と心から感じた瞬間でした。この年もやらされていた自分から抜け出せず不合格。しかし、不合格の結果を受けて、毎日学校が終わってから、夜の12時まで勉強すると決めて、約8カ月続けました。土日は部活動後に図書館へ行って、夕方まで勉強し、そこから帰って12時までとことん勉強しました。また、部活動の遠征先でも作文練習をしたり、面接練習のためにいろいろな先生に力をかけてもらったりしながら、ようやく採用試験を突破することが出来ました。この時の気持ちは、「やったー」という喜びよりも、「よかった」という安堵感や、「これから思いっきりやるぞ」という決意をもったことを覚えています。もし、私が合格するためだけに勉強していたならば、どこかで甘い自分に負けていたはず。そこで踏ん張れたのは、あの時キャプテンに言われた「ごめんなさい」をもう絶対に言わせてはいけないことや、支えてくれている周りの人(先輩の先生方、一緒に勉強会を開いてくれた同僚などなど)がいたからに違いありません。自分一人で頑張れるようになりたい気持ちはありますが、「誰かのために」「何かのために」という理由をもって取り組むことが、頑張りを続ける自分、決めたことを実行できる自分に繋がると実感しています。

③「自分はできると信じることで意外と大事」

【自分はできる】と信じ切ることが出来た人は、必ずできるようになっちゃいます。実は、私たちの脳はそういう仕組みでつくられているようです。それは、勉強が得意や苦手に関係なく、必ず思ったようにできる構造に人間の脳はなっているという話を聞いたことがありますか。人の脳はコンピューター10万台以上の性能を秘めているそうです。しかし、ほとんどの人は、その力が使えていません。脳は、イメージと現実の区別をつけるのが苦手なため、自分の脳を自分でだますことが大切です。「うそつく・だます」なんてダメなことでしょうか？と言われるかもしれませんが、【自分はできる】というだましには、誰も困らせることはないと思います。ただ、脳も簡単には騙されてくれないので、できる自分を再現していくことが必要です。

例えば、簡単なことから構いません。『朝起きたら、すぐに自分の寝ていた場所を整える』という目標を決めたら、それを毎日実行するだけです。当然できる日とできない日があります。できないことが×ではなくて、なぜできなかったのか？どうすればできるのか？を考えることがとても重要です。さらに、できた時なぜできたのか？出来たらどんな気持ちになるのか？を振り返ると good。これを繰り返して【習慣化】されると、どうすれば自分で決めたことが実行できるようになるのか脳にインプットされていくので、別の目標を決めた時にも応用していくことができます。少しずつ目標設定を変えていくと、困難な場面に出くわしますが、「できる自分」を信じる力【習慣化の力】は、必ず受験勉強をする中でも役に立ちます。

ここから6カ月は、「やっても無理」「どうせ・・・」なんて考える暇があるならば、自分にできることをとことんやりきる時間にしましょう。「誰かのせいにする」「環境のせいにする」こともできますが、あなたたちはみんな、自分と向き合いチャレンジする力を持っています。みなさんは可能性のかたまりなのです。必ずできます！！

【9月の予定】

日	曜	行事予定	日課	給食
1	月	①始業式 ②学活 ③学活 ④月4 ⑤月5、避難訓練	(45)	○
2	火	①~⑤第5回実力テスト ⑥生徒会専門委員会		○
3	水		(45)	○
4	木		(45)	○
5	金		(45)	
6	土			
7	日			○
8	月		(45)	○
9	火		(45)	○
10	水	⑤木5	(45)	○
11	木	⑤⑥城西祭(文化の部)前日準備	(45)	○
12	金	城西祭(文化の部)		○
13	土			
14	日			○
15	月	敬老の日		○
16	火			○
17	水			○
18	木			○
19	金	学校安全の日		○
20	土			
21	日			
22	月			○
23	火	秋分の日		
24	水			○
25	木	①~⑤木曜日課、⑥金6		○
26	金	①~⑤金曜日課、英検		○
27	土			
28	日			
29	月			○
30	火			○

【10月の予定】

1日(水)	★第1回基礎学力テスト
7日(火)	⑤⑥人権講演会
9日(木)、10日(金)	2学期中間テスト
16日(木)	遠足
17日(金)	⑥英語 IBA テスト
20日(月)	学校安全の日
27日(月)	お弁当の日
29日(水)	⑤⑥高校進学説明会(13:30~15:30)
30日(木)	第6回実力テスト
31日(金)	中教研統一大会のため生徒臨休

中学校最後の城西祭(文化の部)

9月12日(金)に城西祭(文化の部)が開催されます。

最後の文化祭で3年生全員でできることはないか、と実行委員を中心に話し合いをしました。趣向を凝らした表現ができるように残りの時間みんな練習しますので、お楽しみにしてください。また、有志の部に出演するグループには、3年連続で舞台に立つ人、今回初めての人など様々ですが、夏休みにオーディション、リハーサルを終えて一生懸命に準備をしてきました。

当日は、全学年が体育館に入ります。保護者の観覧場所にも限りがございますが、ご了承ください。また、当日の観覧が難しい場合には、後日オンデマンド配信も予定しておりますので、そちらでの視聴も可能になります。

夏の経験を生かして

高校体験入学を終えて

高校の体験入学にたくさんの人たちが参加しました。高校にはそれぞれの特徴があって、実際の体験を通して「わかったこと」「気づいたこと」があり、行きたい高校が明確になった人もいたのではないのでしょうか。

また、高校生の言葉遣いや行動を目の当たりにすると、残りの中学校生活で身につけておかなければいけないことにも目が向けられたのではないのでしょうか。「時間を意識して行動すること」「身だしなみ」「その場にあった振る舞い(言葉遣い)」など、これからの時間で学習だけでなく、自分磨きにもしっかりと取り組んでいきましょう。

自主学習教室・質問教室を終えて

夏休みの期間20回教室を開放して、学習する時間をつくりました。約48時間開放した中で、延べ208人(1回で平均10人程度の参加)の人が学習しに来てくれました。中には、45時間学校で学習を行った人もいました。学校に来るまでが大変(暑いから・・・)という声も聞きましたが、来ると集中して学習できている人ばかりでした。

ここから、学習とは離れて生活することはできません。得意や苦手に関係なく、学習と向き合う時期にどのように取り組めるかが試されていると考えてください。この経験は、大人になった時に資格試験や就職採用試験など様々な場面で生かされていきます。

ぜひ、学習と向き合う180日を過ごしてみてください。

◇ 保護者の皆さまへ

夏休みの三者面談大変お世話になりました。面談は短い時間でしたので、気になることやご不明なこと・聞きたいこと等がありましたら、2学期以降もいつでもご相談ください。

さて、進路決定に向けて様々なお話をご家庭でも行っているところとは思いますが、ぜひお子さまに自分の考え・思いを言葉にする機会をつくっていただければと思います。中学生の多くは、選択が難しくなればなるほど、誰かの意見に身を任せてしまいそうになります。他の人の意見を聴くことはとても大切ですが、自分の意見を表に出すこともそれと同じくらい大切なことだと考えています。そして、この15歳の進路選択・決定する場面には、そのチャンスがあると考えています。お子さまの力を信じていることができるのは、周りにいる大人である私たちです。逃げそうになる時、弱音を吐く時には、背中を押して、堂々と自分の考えを言えた時には、見守ることができれば、お子さまの大きな成長を後押しできると信じています。

どうぞ2学期もよろしく願いたします。